

1 平成28年度 事業報告



: マークは共同募金・歳末たすけあい募金酒分金事業で実施

1 会議の開催

会 議 名	開催日	内 容	結 果
第1回理事会	H28. 5. 24	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度 事業報告並びに収支決算報告について 理事長感謝状贈呈式(会議冒頭部分) 	可 決
第2回理事会	H28. 5. 24	<ul style="list-style-type: none"> 評議員の選任について 次期評議員の選任について 次期理事長及び副理事長の選任について 次期顧問の選任について 	// // // //
第3回理事会	H28. 12. 12	<ul style="list-style-type: none"> 定款の変更について 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について 評議員選任・解任委員の選任について 評議員の選任に関する規程の一部改正について 経理規程の一部改正について 	// // // // //
第4回理事会	H29. 3. 28	<ul style="list-style-type: none"> 専決規程の一部改正について 経理規程の一部改正について 資金運用規程の一部改正について 文書閲覧規程の一部改正について 評議員の選任に関する規程の一部改正について 評議員選任候補者の推薦並びに評議員選任・解任委員会の招集について 平成28年度 資金収支補正予算(案)について 平成29年度 事業計画(案)並びに資金収支予算(案)について 	// // // // // // // //
第1回評議員会	H28. 5. 24	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度 事業報告並びに収支決算報告について 理事の選任について 次期理事及び監事の選任について 	// // //
第2回評議員会	H28. 12. 12	<ul style="list-style-type: none"> 定款の変更について 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について 評議員選任・解任委員の選任について 評議員の選任に関する規程の一部改正について 	// // // //
第3回評議員会	H29. 3. 28	<ul style="list-style-type: none"> 専決規程の一部改正について 経理規程の一部改正について 資金運用規程の一部改正について 	// // //

		<ul style="list-style-type: none"> ・文書閲覧規程の一部改正について ・評議員の選任に関する規程の一部改正について ・平成 28 年度 資金収支補正予算(案)について ・平成 29 年度 事業計画(案)並びに資金収支予算(案)について 	<p>//</p> <p>//</p> <p>//</p> <p>//</p>
児童館運営委員会 (社協運営 7 館)	H28. 6. 14 ～H28. 7. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度運営報告並びに会計決算について ・平成 28 年度運営計画並びに会計予算について 	<p>//</p> <p>//</p>
善意銀行・ 芝田カナエ基金 運営委員会	H28. 7. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度 預託及び払出状況について ・平成 28 年度 払出計画について 	<p>//</p> <p>//</p>
	H29. 2. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度 預託及び払出状況 (見込み) について ・平成 29 年度 払出計画について ・公募助成事業の報告 	<p>//</p> <p>//</p> <p>//</p>
ボランティアセンター 運営委員会	H28. 6. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度事業報告及び事業評価について ・平成 28 年度事業の実施に関して 	<p>//</p> <p>//</p>

2 高齢者福祉の推進

(1) 地域支え合い活動の推進

高齢者の総合相談窓口である区内 7ヶ所のあるしんすこやかセンターの「地域支え合い推進員」や、民生委員児童委員協議会等と連携して、ひとりぐらし高齢者等を地域住民間で見守る福祉コミュニティづくりを支援した。

① 小地域支え合い連絡会の開催

地区民児協を単位に、見守り活動の課題や個別ケースの対応を検討し、活動に関する情報交換を行うため、連絡会を開催した。

・年間開催回数 43 回

② 地域ケア会議への参加

小地域支え合い連絡会の内容をうけ、あるしんすこやかセンター圏域の関係者が集まり、情報交換や地域高齢者の見守りや地域資源・地域づくりについて話し合う、地域ケア会議へ参加した。

・年間参加回数 18 回

③ 高齢者自立支援拠点「あるしんすこやかルーム」事業

新しい見守り事業形態として、平成 19 年度より高齢化率の高い公営住宅の住戸等を活用し、高齢者の自立を支援する拠点（あるしんすこやかルーム）づくりに努めるとともに、その運営を支援した。

<主な活動内容>

- ・見守り活動（対象住宅及び周辺住宅）
- ・健康づくり・生きがいづくり活動への取り組み
- ・コミュニティ支援への取り組み

・支援者間の情報交換の場としての活用

	法人名	あんしんすこやかセンター名(圏域)	ルーム名	人員	設立年月(年/月)	設立場所	対象住宅
1	ぶどうの枝	名倉あんしん	めぐみ	2	H19/10	市営房王寺住宅	同左
2	福祉会	すこやかセンター	のぞみ	1	H22/3	市営丸山東住宅	同左
3	神戸福生会	御蔵あんしんすこやかセンター	せせらぎ	2	H22/3	シューズプラザ 4階	市営神楽・細田住宅
4	駒どり	新長田あんしんすこやかセンター	てつじん	2	H23/1	アスクにつか 5番館	市営久二塚東・久二塚西・久二塚西ふれあい住宅
5	神戸市社協	真野真陽あんしんすこやかセンター	おちやのま	1	H23/3	浜添通民家	市営真野住宅
計	4法人	4センター	5ルーム	8名		5ヶ所	8市営住宅

(2) 高齢者見守り調査の実施

区民生委員児童委員協議会とともに、65歳以上の単身世帯や見守りが必要となるリスクの高い75歳以上の方のみで構成される世帯を対象とした調査を実施した。

(3) ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動の推進

民生委員児童委員が中心となった友愛訪問グループに対し、助成金を交付するとともに、「友愛訪問ハンドブック」を配付する等活動を支援した。

3月末現在

グループ数・人数	対象高齢者数	安否確認をおこなった回数
327グループ・1,515名	2,685名	163,060回

(4) ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会の支援

区内のひとりぐらし高齢者ふれあい給食サービス事業を行うグループに対し、助成金を交付するなど活動を支援した。

3月末現在

グループ数	実施回数	延べ参加者数
31グループ	393回	15,914名

また、歯科医師会より講師派遣をしていただき、希望する給食グループに対し、昼食後口腔ケアの指導・講話を行っていただいた。

・名倉ふれあい食事会 平成28年6月28日(35名) 7月26日(35名)

(5) コミュニティサポートグループ育成支援事業

①地域貢献活動推進事業

地域の実情に応じて住民が主体となって家事援助活動や友愛訪問活動等の地域貢献活動を行うコミュニティサポートグループの結成及び運営する事業に対し、支援を行った。

・事業数 2事業

②コミュニティづくり推進事業

地域住民相互の見守り活動の一層の推進を図るため、見守り活動やコミュニティづくりを目的とした活動を行う地域住民やボランティアグループの育成等を行う事業の支援を行った。

・事業数 15事業

③介護予防促進事業

地域に居住する高齢者が、いつまでも健康でいきいきと暮らし続けることができるよう、地域住民が主体となり体操等の介護予防促進活動を行うグループの結成及び運営する事業に対し、支援を行った。

・事業数 12事業

(6) 生活支援体制整備事業(「協議体」会議の開催)

平成29年4月からの介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、地域で支援を要する人を地域で支え合う地域づくりを行う体制整備として、27年度長田区社協において「協議体」を設置した。「協議体」は地域団体・あんしんすこやかセンター・事業所・行政の代表者等を構成員としており、地域の課題や資源の情報共有等を図るため、28年度2回の「協議体」開催した。

第1回目・日時 平成28年9月28日(水) 14:00~16:00

内容 民間事業所からの報告、情報交換等

第2回目・日時 平成29年3月6日(月) 13:30~15:30

内容 あんしんすこやかセンターからの報告、情報交換等

(7) 生活支援・介護予防サポーターの支援【新規】

地域の活動の担い手である生活支援・介護予防サポーターの支援を行った。

・第1回交流会

日時 平成28年6月7日(火) 13:30~15:30 参加者5名

・フォローアップ研修会・第2回交流会

日時 平成28年10月7日(金) 13:30~15:30 参加者14名(うちサポーター4名)

平成28年10月17日(月) 13:30~15:30 参加者19名(うちサポーター5名)

内容 傾聴ボランティア講座 講師:「心理スペースぼれぼれ」稲松 由佳氏

(8) テレフォンサポート事業の実施

週2回、火・木曜日の午後に、ボランティアにより、ひとりぐらし高齢者宅へ電話等によるお元気確認を行った。また、概ね月1回連絡会を開催し、高齢者福祉に関する学習会や情報提供を行い、ボランティアの育成に努めた。

・ボランティア 8名(延べ213名) 対象高齢者 12名 実施回数 93回

(9) 歩行杖の交付

善意銀行の預託金を活用して購入し、区内在住の70歳以上の希望者等に歩行杖を有料交付した。

- ・交付本数 314本



(10) 高齢者マッサージ奉仕の実施

区視力障害者福祉協会、鍼灸マッサージ師会、ふれあいのまちづくり協議会等の協力を得て高齢者マッサージ奉仕を年2回実施した。

- ・平成28年6月10日(金) 10:00~12:00 みすがふれあいのまちづくり協議会 参加者27名
- ・平成28年9月9日(金) 10:00~12:00 会陽ふれあいのまちづくり協議会 参加者13名

(11) 高齢者支援の調査・研究

①買い物・外出支援

ア) 昨年度実施の買い物・外出に関するアンケート調査について、地域へ情報提供を行った。

- ・丸山地区民児協 定例会 平成28年7月5日(火) 参加者 民生委員20名
- ・丸山敬老のつどい 平成28年9月3日(土) 参加者 住民約200名
- ・丸山地域ケア会議 平成28年9月13日(火) 参加者 地域住民・専門職約50名

イ) コープ第三地区本部との勉強会

- ・平成28年8月23日 コープ移動販売車巡回視察(丸山地区 まんてん堂)
- ・平成29年1月18日 打合せ

ウ) 大規模住宅等における生活支援グループ育成支援

市営房王寺住宅の生活支援グループの拠点事務所・補助金確保支援

- ・平成28年10月30日(日) 市営房王寺住宅住民交流会 開催
豚汁・おにぎりの炊き出し200食など
- ・市営房王寺住宅拠点確保等打合せ 7回

3 子育て支援・児童福祉の推進

(1) 市社協児童館の管理・運営

区内にある10館の児童館のうち神戸市社会福祉協議会が指定管理者となっている市立児童館7館・学童保育コーナー2コーナーについての管理・運営を行った。

	児童館名	年間利用者数	平均利用者数	放課後児童クラブ登録児童数 (平成28年度末)
1	真野児童館	13,377名	46名	30名
2	志里池児童館	14,153名	48名	38名
3	長楽児童館	18,098名	62名	44名
4	片山児童館	16,179名	55名	44名
5	池田児童館	17,742名	61名	44名
6	長田児童館	13,533名	46名	17名
	御蔵学童保育コーナー	13,700名	47名	43名

7	細田児童館	39,361名	134名	70名
	蓮池学童保育コーナー	9,698名	33名	44名
	社協運営児童館 計	155,841名	59名	374名

(年間開館日数 293 日)

<参考：他団体運営児童館>

児童館名	年間利用者数	平均利用者数	放課後児童クラブ 登録児童数 (平成 28 年度末)
五位の池児童館 (運営:神戸新生福祉会)	9,608名	32名	40名
駒栄児童館 (運営:近田幼稚園)	24,758名	85名	76名
大日丘児童館	11,611名	39名	22名
丸山学童保育コーナー (運営:雲雀ヶ丘福祉会)	5,372名	20名	22名
計	51,347名	44名	160名

(2) 区内児童館の運営支援

区社協子育てコーディネーターが市社協運営の児童館 7 館、学童保育コーナー 2 コーナーと駒栄児童館、五位の池児童館、大日丘児童館 (丸山コーナー) の運営支援を行った。

① 児童館巡回支援

61 児童館 (親子館事業 放課後児童クラブ 児童館事業事務 その他 巡回)

② 児童館指導員研修会の開催

児童館職員の研修会を開催した。

ア. 指導員研修会 3 回 (6 月 24 日、10 月 5 日、11 月 29 日)

イ. 放課後児童支援員研修会 2 回 (6 月 7 日、10 月 18 日)

③ 拠点児童館事業の推進支援 <細田児童館>

総合児童センターと連携し、専門講座の開催、また区との連携事業を支援した。

講 座	実施期間 (回数)	参加者数
① 赤ちゃん講座 (実施場所 細田児童館)	H28.5/9~5/30 (4 回)	10 組 22 名
② 赤ちゃん講座 (実施場所 長田児童館)	H28.10/17~11/7 (4 回)	10 組 22 名
③ 指導者向け専門講座 ※インリアル・アプローチ講座	H28.11/11・11/18 (2 回)	16 名
④ はじめのだいじっぱ (新米ママ、プレママの地域デビュー支援)	H28.7/4~ H29.2/21 (6 回)	延べ 31 組 51 名
⑤ パパカ (ちから) 講座 (すとりべりーじゃむの親子遊び、ママのためにお昼ご飯を作ろう!、パパとなかよしひろば、パパ・ママフェスタ)	H28.11/5~ H29.2/18 (4 回)	延べ 80 組 178 名
⑥ J-c a f e 【新規】 (発達がゆっくりな乳幼児と保護者の居場所づくり)	H28.5/24~ H29.3/14 (34 回)	延べ 26 名
⑦ こども☆おべんとうひろば 【新規】 (小学生以上の子どもの居場所づくり)	H28.4/1~ H29.3.31 (88 回)	延べ 113 名 (シニアホーター延べ 35 名)

※インリアル・アプローチは、発達のゆっくりな子どもに対し、その子どもにとってコミュニケーションを取りやすい、良い反応をすることで、言葉を育てていくという考え方

(3) 地域の子育て支援

① 出前児童館の実施

児童館が近くにない、または、学校の長期休業期間中などの理由により、児童館を利用しにくい乳幼児親子が集える場をつくることを目的に、児童館職員の協力を得て「出前児童館」を実施した。

【「よーせて！ひろば」として区こども保健係、地域子育て応援プラザ長田と共同開催】

日 時	場 所	参加者数
平成 28 年 7 月 27 日 (水) 10:00～12:00	高齢者ケアセンターながた	大人 17 名 幼児 17 名 高齢者 18 名
平成 28 年 7 月 28 日 (木) 10:00～12:00		大人 5 名 幼児 8 名 高齢者 18 名
平成 28 年 8 月 17 日 (水) 10:00～12:00	高齢者ケアセンターながた サテライト宮丘	大人 10 名 幼児 10 名 高齢者 10 名
平成 28 年 8 月 18 日 (木) 10:00～12:00		大人 5 名 幼児 7 名 高齢者 12 名
平成 28 年 8 月 24 日 (水) 10:00～12:00	特別養護老人ホーム ふたば	大人 4 名 幼児 5 名 高齢者 17 名
平成 28 年 8 月 25 日 (木) 10:00～12:00		大人 5 名 幼児 9 名 高齢者 17 名

② 子ども安全マップ活動事業

児童館が地域住民等の協力を得ながら、子どもの被害防止能力や危険回避能力の向上をめざし実施した。

<実施館 長楽児童館>

- ・日 時 平成 28 年 11 月 14 日 (月) 10:20～12:30
- ・内 容 地域を歩き、危険な場所、安全な場所を知る。地震・津波プログラム。
- ・参加者数 45 名

③ 地域で子育て元気アップ事業

地域の人材を活かし、子育て力の向上と地域ぐるみの子育てに寄与するために、実行委員会を結成し、世代間交流事業を実施した。

<実施館 片山児童館>

- ・日 時 平成 28 年 10 月 29 日 (土) 13:00～15:30
- ・内 容 ～片山サスケ 2016～
3つのコーナーを回りながら活動しスタンプをゲットして焼き芋をもらう。
滝登り 一本橋渡り ぶら下がり PK キック 蜘蛛の巣くぐり だるま落とし
- ・参加者数 205 名

④ PAPAプロジェクトの実施

父親の育児参画を促し、子育て家庭における夫婦の調和、親子の絆を確かなものにする。また、地域における子育て支援に父親が参加し、育児参加の推進を目的に実施した。

第1回

- ・日 時 平成 28 年度 6 月 26 日 (日) 11:00～12:00

- ・場 所 細田児童館
- ・内 容 かば☆うまの遊び歌ライブ
- ・参加者数 53組 127名 (父親12名 母親47名 子ども68名[乳幼児55名 小学生13名])

第2回


- ・日 時 平成28年度7月16日(土) 13:30~14:30
- ・場 所 丸山コミュニティセンター
- ・内 容 かば☆うまの遊び歌ライブ
- ・参加者数 大人39名 子ども34名[乳幼児8名 小学生26名]

(4) 子育てコミュニティ育成事業(児童館の休日開放)の推進

地域ぐるみで子どもたちの健全育成を図るため、各児童館施設を休日に活用して、施設開放や行事を開催することにより、コミュニティ作りを支援した。

- ・実施団体 地区民児協、主任児童委員連絡会、婦人会、子ども会、青少協、ふれまち協、小・中学校PTA、自治会、ボランティア等
- ・実施内容 自由開放、工作教室、おやつづくり、料理教室、季節のおまつり等
- ・実施児童館 区内児童館全館

(5) 小地域子育て支援ネットワークの推進と組織化

 地域組織や事業者、学校、施設、行政等が、児童館を拠点とした小地域単位で連携し、情報交換や課題検討を行うことによって、地域の子ども達が健やかに育つための環境づくり(場づくり・人づくり等)を目的とした連絡会を支援した。

【平成28年度実施地区】

No	校 区	事務局	No	校 区	事務局
1	真陽小学校区	駒栄児童館	4	駒ケ林小学校区	長楽児童館
2	池田・長田小学校区	池田児童館	5	蓮池小学校区	細田児童館
3	室内・御蔵・水木小学校区	長田児童館			

(6) 区内児童館合同行事の実施

わくわく☆おたのしみ会

- ・目 的 2~3歳児を在宅育児中の親子のうち、児童館のすこやかクラブに登録している会員同士の交流
- ・日 時 平成28年9月28日(水) 10:30~11:30
- ・場 所 長田区役所7階 大会議室
- ・対 象 区内児童館(10館)のすこやかクラブ会員親子
- ・参加者数 親子93組 204名 主任児童委員17名

(7) 区内保育所(園)合同行事の実施

「第31回長田区保育園・保育所5歳児地域交流会」の開催

- ・目的 公立、私立の保育所(園)の5歳児が、老人クラブ、主任児童委員と共に運動会遊びをして、世代間交流を図る。
- ・日時 平成28年10月25日(火) 9:40~11:30
- ・場所 兵庫県立文化体育館
- ・参加者数 592名(5歳児351名、老人クラブ113名 その他128名)

(8) 長田区こども保健係等との連携

こども保健係等と連携をとりながら下記の事業に参加した。

① 「カンガルーフェスタ」への協力

児童館コーナー内容:「親子であそぼう(チラシ遊び)」

- ・日時 平成28年12月9日(金) 9:30~12:00
- ・場所 長田区役所6階・7階
- ・参加者数 親子 155組 394名

② 情報誌「よーせて!」の発行

「こども保健係」「地域子育て応援プラザ長田」と連携し、区内の子育て支援情報をまとめ、情報紙を発行した。(発行回数 6回)

③ 子育て支援ネットワーク実務者会議などへの参加

④ 出前児童館を「よーせて!ひろば」として実施【再掲】

(9) 絵本を通じた子育て支援事業の実施

絵本の有効活用と絵本を通じた子育て環境の整備、学生ボランティア活動の拠点づくりを目的に「絵本こうかん市場」を開設。長田中央市場、神戸常盤大学、委託団体と連携をとりながら運営を行った。

絵本こうかん市場の開設、運営

- ・設置日 平成20年5月 設置場所 長田中央市場内
運営協力 池田婦人会

(平成27年度より「特定非営利活動法人輝いけだ」から実施主体を変更)

- ・設置日 平成21年12月 設置場所 放課後等デイサービス よりみちクラブ
運営協力 合同会社らっかす(平成26年4月~)
(『カフェ パセリとはなこ』が別法人化・名称変更)



(10) 子ども会諸活動の支援

区子ども会連合会が実施する親子の交流活動に対して助成を行った。

4 障がい者福祉の推進

(1) 長田区自立支援協議会への参画

区内の障がい者福祉関係団体によって設立された「長田区自立支援協議会」に区健康福祉課とともに運営委員として参加し、障がい者団体の活動を支援した。

(2) 障がい者福祉団体への支援

障がい者福祉団体の活動を推進するため5団体に対し助成を行った。

(3) 障害福祉サービス事業所の支援

善意銀行や歳末たすけあい募金の財源で、障害福祉サービス事業所18事業所に対し活動助成を行った。

(4) 手話啓発事業の実施・支援

①手話講座（入門編）の開催

手話の実技を通して、聴覚障がいのある方への理解と知識を身につけるため手話講習会を実施した。

- ・開催期間 平成28年4月5日～平成28年9月13日（全22回）
毎週火曜日 13:30～15:30
- ・参加者数 延べ190名（応募者10名、受講者9名、修了者9名）

②子ども手話講座の開催

小学生を対象に手話と聴覚障がいのある方に対する理解を深めてもらうための子ども向け手話講習会を実施した。

- ・日時 平成28年7月30日（土）14:00～16:00
- ・参加者数 31名

③ワンポイント出張手話教室の開催 【新規】

地域団体・企業などを対象に、手話言語条例や聴覚障害についての説明や簡単な手話の習得を出張教室として実施した。

- ・開催日 平成28年6月4日（土）～平成29年1月24日（火）（延べ9回）
- ・参加者数 延べ171名（応募者173名、受講者171名）
- ・協力団体 長田区聴力言語障害者福祉協会・手話サークル若葉
- ・参加団体 障害者地域生活支援センター、信用金庫（2回）、病院、地区民児協、消防署、郵便局、ヘルパーステーション、区役所

(5) 小規模作業所新商品開発実行委員会への支援

障がいのある方々が作る商品を開発・改良していくために結成した委員会の助成金事業の実施を支援した。

- ・商品カタログ作成のための助成金報告事務などの支援
（神戸やまぶき財団第6回 平成27年度（第1回）社会福祉助成金の報告）

5 ボランティア活動・福祉教育の推進

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催【再掲】

ボランティアセンター事業の強化、向上を図るため、事業計画の助言や事業評価を行う「ボランティアセンター運営委員会」を開催した。

- ・開催日 平成28年6月28日（火）14:00～15:00

- ・内 容 平成 27 年度事業報告及び事業評価について
平成 28 年度事業の実施に関して

(2) ボランティアコーディネーションの実施

長田ボランティアセンター・それいけネットワークの運営を通じ、誰でも気軽にボランティア活動に参加できる基盤づくりに努めた。

① コーディネート業務 (ボランティア活動に関する登録・相談・受付・紹介・調整)

- ・ボランティア登録数 個人 184 名 グループ 207 団体 約 9,800 名 (H29.3 末)
- ・ボランティアをしたい(相談含む)件数 延べ 127 件
- ・ボランティア依頼(相談含む)件数 延べ 91 件
- ・その他の相談件数 延べ 1,364 件
- ・活動成立件数 152 件 (H29.3 末)

※平成 28 年度より、全区ボランティアセンターにてボランティア情報システムが導入され、カウント項目の統一等実績管理の基準が変更となって件数が急増しています。

② ボランティア活動の支援

- ・兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の受付

- ア) 市民活動災害共済 581 件 (3,655 名加入)
- イ) 市民活動災害共済 (天災危険補償プラン) 20 件 (95 名加入)
- ウ) 移送サービス交通傷害保険 1 件 (8 口加入)
- エ) 行事用保険 180 件 (対象行事 466 件加入)
- ・福祉サービス総合補償 (全社協所管) の受付 1 件
- ・県民ボランタリー活動助成の受領団体受付 60 団体 (エントリー 65 団体)
- ・古切手、使用済みカードの収集・整理活動 9 回 延べ 77 名参加
- 平成 28 年度実施分の実績 4.9 k g
- ・ボランティア交流会の開催 平成 28 年 7 月 15 日(金) 33 名参加

③ ボランティア講座の開催

講座名 / 内容 / 特徴	開催期日	参加者数
学生・若年層のボランティア体験 地域行事へのボランティア参加		
①花水木まつり (育英高校)	平成 28 年 4 月 29 日(金・祝)	12 名
②夏越ゆかた祭 (サンタ団)	平成 28 年 7 月 17・18 日(日・月)	10 名
③おやつはべつばら(サンタ団)	平成 28 年 10 月 15 日(土)	5 名
団体向け講座グループ虎の巻 助成金講座 ・ひょうごボランティア基金申請方法・その他助成財団の紹介 ・ボランティア交流会 (助成金講座終了後実施)	平成 28 年 7 月 15 日(金)	33 名
ボランティア交流事業 ふれあいわくわくフェスタ 【新規】	平成 28 年 7 月 30 日(土)	18 名
学校教員向け福祉体験学習ノウハウ講座 【新規】	平成 28 年 8 月 19 日(金) ・25 日(木)・9 月 23 日(金)	各 2 名
神戸常盤ボランティアセンターとの共催講座 被災地支援実地研修(熊本)	平成 28 年 8 月 25 日(木) ～平成 28 年 8 月 28 日(日)	7 名
傾聴ボランティア講座 【新規】	平成 28 年 10 月 7・17 日(金・月)	24 名

みんなのふくし講演会 「防災のまちづくりから共助を考える ～防災が地域を変える、社会を変える～」 講師 片田 敏孝氏 (群馬大学大学院理工学府 教授)	平成 28 年 10 月 30 日(日)	89 名
-----------------------------------------------------------------------------------------	----------------------	------

(3) 地域団体等との協働の取り組み

区内のボランティア、NPO が協働で行う各種実行委員会の主催や参加を行った。

① 小規模作業所 新商品開発実行委員会への支援【再掲】

② 「1.17KOBE に灯りを in ながた」実行委員会への参加

阪神・淡路大震災の犠牲者への追悼行事として開催される、ろうそくに灯りをともす市民参加型の本事業の事務局を担い、実行委員会を運営した。

- ・日 時 平成 29 年 1 月 17 日 (火) 10:00～21:00
- ・場 所 新長田駅前広場
- ・内 容 ろうそくへの点灯、追悼ライブ、震災の記憶を風化させないよう情報を発信した。

ア) 災害ボランティアセンター運営訓練

行事当日のボランティア受付やマッチングなどについて、災害ボランティアセンターの開設・運営を想定した訓練を兼ねて実施した。

イ) 学生のボランティア参加コーディネート

追悼行事への学生のボランティア参加をコーディネートし、行事への参画を通じた震災学習の推進や会場ボランティアを活性化させた。

参加校	実施活動	参加人数
駒ヶ林中学校 1 年生	会場設営ボランティア	60 名
長田・西代 中学校	募金活動	長田 24 名・西代 9 名
湊川・常盤女子 高校	募金活動	湊川 4 名・常盤 30 名
鷹取中学校	追悼合唱	約 30 名
神戸常盤大学	会場(設営・運営)・炊き出しボランティア	14 名
兵庫県立大学 東日本大震災支援サークル Bridge	来場者アンケート	5 名

ウ) ろうそくづくりワークショップ

区内外の幼保・小中学校にて、行事で使用する追悼用の再生ろうそくを作成するワークショップの実施及び、震災語り部や防災学習の講義を実施。

(再生ろうそくは約 10,000 個作成。)

ろうそくづくり実施校

実施校 (園)	実施日	学年	参加人数
北須磨保育センター	12/1 (木)	3～5 才児	256 名
駒ヶ林中学校	12/2 (金)	1 年生	60 名
蓮池小学校	12/7 (水)	4 年生	112 名
兵庫大開小学校	12/8 (木)	4 年生	117 名

水木小学校（新規参加）	12/9（金）	4年生	46名
ときわ幼稚園	12/13（火）	3～5才児	50名
長田南小学校	12/13（火）	6年生	28名
合 計			7校 669名

エ) 神戸保育園は震災語り部講義のみ実施。(1/10 実施)

オ) 竹切りワークショップ

学生ボランティアに対し、工具等を使う作業を体験してもらうワークショップを実行委員会と地域住民の協力で開催。ワークショップで伐採した竹は、行事当日に募金箱として来場者に配布した。

日 時：平成29年1月8日（日） 会 場：無動寺（北区山田町） 参加人数： 31名

③ いちばで元気運営委員会への参加

子どもいちばの実施

小学生が近隣の障害福祉サービス事業所を訪問して商品作りに参加し、作成した商品を長田中央市場で販売する等、障害福祉サービス事業所と連携をとりながら実施する福祉教育プログラム。

ア) 出合いのプログラム【福祉教育】

「師匠と弟子」という形で、障がい者と小学生が出会うことで、障がい者へのイメージの転換を図るプログラム

イ) 1日ボランティア体験【福祉体験・社会体験】

小学生が自分たちで障害福祉サービス事業所を訪ね、その作業を体験することを通じ交流を図るプログラム。

ウ) 子どもいちば【社会体験】

1日体験で作成した商品や事業所の自主製品を、地元である長田橋にて販売を行う（長田中央いちば、長田神社前商店街協力 食遊館）。

児童と地域を結び付け、市場商店街の活性化を図り、児童が働くこと、商売をすることを体験することで仕事、金銭の大事さを学ぶ、また児童の販売体験を通じて障害福祉サービス事業所のPRを図るプログラム。

実施内容

学校名	学年	人数	ア) 出合い	イ) 1日体験	ウ) 子どもいちば
室内小学校	3年生	29名	9/8（木）	9/29（木）	10/27（木）
長田小学校	5年生	50名	10/6（木）	10/18（火）	11/22（火）
宮川小学校	3年生	46名	11/25（金）	12/8（木）	1/27（金）
合 計		125名			

④ ユニバーサルデザイン普及のための活動

長田区におけるユニバーサルデザインの普及をめざし、次の事業を実施した。

・長田区ユニバーサルデザイン研究会への参加

ア) 授業依頼の一次受付

平成 28 年度より、研究会の活動方針が出前授業中心へと変更された。それに伴い、本会福祉教育と連動し、出前授業の案内・依頼受付を担当、授業への講師派遣は研究会が行った。

依頼受付 5 件

(駒ケ林小【モノ】、五位ノ池小【モノ・食】、名倉小【モノ】、湊川児童館【体験授業】)

※【モノ】物のユニバーサルデザイン授業 【食】食のユニバーサルデザイン授業

イ)出張授業への講師協力 4 回参加

⑤ 一七市拡大版（福祉フェア）の開催

区内の障害福祉サービス事業所等が中心となり、小学校や企業が連携したイベント「一七市拡大版 2016」を企画した。「あの日の思いやりの心を忘れぬために」をテーマに年 1 回開催しており 22 回目の開催となった。

- ・日 時 平成 28 年 11 月 27 日（日）10:00～15:00 ※雨天のため中止
- ・場 所 鉄人広場（新長田）・サブテーマ 「いつも災害に備える心を」
- ・内 容 障害福祉サービス事業所等の出店やステージアトラクションなど

サブテーマに合わせた特別企画として、防災グッズの展示や、熊本・東北などの被災地産産商品の物販支援。その他、ミニ手話講習会などの企画を行った。

※実行委員会の開催

行事開催に向けた実行委員会を開催し、企画・準備を進めていくことを通じて、障害福祉サービス事業所や参加団体のネットワークづくりや連携強化を図る。

6/30、7/28、8/24、9/29、1/26(ふりかえり会) 計5回実施

参加団体

種 別	団体数	種 別	団体数
障がい福祉サービス事業所	29 団体	当事者団体	2 団体
学校・学生ボランティア	5 団体	一般ボランティア	6 団体
その他	2 団体		

※福祉交流体験(池田小学校)

行事に参加する小学校児童を対象に、障害福祉サービス事業所との交流事業を、行事参加導入として実施し、障害福祉への理解促進を図った。

5 年生 49 名 11 月 14 日実施 6 年生 46 名 11 月 8 日実施

(4) 福祉教育・ボランティア学習の支援

備品の貸し出しや教材の発行並びに福祉教育プログラムの作成支援を通して、福祉教育・ボランティア学習の推進を図った。

①体験学習のための車いす・アイマスク等の貸し出し

貸出件数

	車いす	アイマスク	高齢者疑似体験セット	その他
福祉教育	9 件	8 件	4 件	3 件
ボランティア学習等	5 件	0 件	5 件	8 件

② ボランティア主催イベント等への資機材の貸し出し

貸出件数：18件

③ 講師紹介及び体験学習授業の実施

実施回数 2件 実施校 真陽小学校、長田小学校

④ 学校教員向け福祉体験学習ノウハウ講座の実施及び福祉教育プログラム作成支援 [再掲/新規]

・ノウハウ講座 3件

学校教育における総合学習のカリキュラムの中で実施される福祉(体験)授業について、学校教員の授業実施を支援するため、福祉体験に関する知識や授業のねらい(目標)を専門職の視点から伝達する講座を実施した。

・プログラム作成支援 3件

学校教員が福祉体験授業を実施するにあたり、授業の内容や体験の設定など授業プログラムの策定の相談に応じ、助言を行った。

⑤ 「認知症学習会」の開催

認知症に対する理解普及のための授業事業を小学校で実施した。

・日時 平成29年3月2日(木) 10:45~11:30

・場所 池田小学校 参加者数 3年生児童 37名(1クラス)

(5) 災害支援の活動

①熊本地震災害支援職員派遣

・派遣職員 1名

・派遣先 熊本市社会福祉協議会 災害ボランティアセンター

・派遣期間 5/6(金)~5/10(火) 計5日間

・従事内容 災害ボランティアセンターの運営支援(配車班支援、ニード現地調査等)

②災害義援金の受付

・神戸市社協が実施した熊本地震災害救援募金の受付

全市 46,244,053円(H29.3末時点) 長田区社協受付 39件 1,641,849円(H29.3末時点)

自治体	金額	自治体	金額
熊本県	6,244,053円	南阿蘇村	5,000,000円
熊本市	20,000,000円	西原村	5,000,000円
益城町	10,000,000円	合計	46,244,053円

③神戸常盤ボランティアセンターと連携事業の実施

・熊本地震被災地支援ボランティアバスの運行

平成28年8月25日(木)~28日(日) 参加者 7名

平成28年4月14日に発生した熊本地震災害に対し、神戸常盤ボランティアセンター、神戸市社会福祉協議会との三者共催でボランティアバスを運行。特に被害の大きかった西原村、益城町にて災害支援活動を実施した。

活動日	活動場所	活動内容
8/26 (金)	西原村復興支援災害ボランティアセンター	個人宅の外壁養生作業等
8/27 (土)	益城町総合体育館	避難者(300名)へ炊出し(そばめし等)、 高齢者・小児向け口腔ケア講習

(6) 視察等の受入

ボランティアセンター等に関する他都市・団体の視察の受け入れ

	視察日	受入団体	内 容	参加人数
①	6/7 (火)	石巻専修大学	災害ボランティアセンターについて	1名
②	6/16 (木)	韓国(江原道ボランティア管理センター)	日本のボランティアと介護保険について	27名
③	7/11 (月)	宇治市西小倉地区社協	真陽地区の取り組みについて (災害時の要援護者支援)	22名

(7) その他

- ・神戸常盤ボランティアセンター運営委員会への参加 6月14日(火)、3月22日(水)

6 地域福祉の推進

(1) 共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

① 共同募金運動

(平成28年度募金実績)

募金額	内 訳
目標額 6,000,000円	広域目標額2,069,000円 地域目標額 3,931,000円
実績額 5,190,170円 (達成率86.5%)	広域実績額2,069,000円 地域実績額 3,121,170円

(平成28年度配分実績) *平成27年度募金実績による平成28年度配分金

分野	配分先	金額
高齢者	地区民児協、区老連、老人いこいの家等	398,728円
	高齢者マッサージ奉仕事業、敬老会タオル助成	191,890円
障がい児・者	障がい児・者福祉団体(視力・聴力・言語、重心父母の会、手をつなぐ育成会)、一七市拡大版実行委員会、	512,700円
児童・青少年	児童福祉団体(区子連、青少協、少年団野球)、小地域子育て支援ネットワーク、母子福祉たちばな会	493,780円
その他	区民児協、体協、保護司会、遺族会、婦人会、公募助成事業、地域活動支援助成	1,247,594円
	広報紙等による福祉情報提供	772,308円
合計		3,617,000円

② 歳末たすけあい募金運動

11月中旬から12月中旬にかけて、区自治会連絡協議会・区連合婦人会・区民生委員児童委員協議会が中心となり募金運動を実施し、多数の区民や団体から募金が寄せられた。

(平成28年度募金実績) 目標額 4,000,000円

実績額 3,984,985円 (達成率 99.6%)

(平成28年度配分実績) 11月24日に開催された配分委員会で審議

配分先	件数	金額
単身高齢者等見守り活動支援 (カインダー)	11,000名	581,472円
交通遺児	7名	35,324円
障害福祉サービス事業所への助成	18ヶ所	900,000円
給食サービスグループ	29グループ	1,340,196円
民間児童発達支援・放課後等デイサービス [新規]	7団体	208,986円
一人親家庭等の子どもの学習支援事業 [新規]	4団体	158,192円
NPO等による地域福祉活動の支援 [新規]	2団体	60,648円
歳末たすけあい募金活動に伴う助成	16団体	307,800円
合計		3,592,618円

(2) 民生委員児童委員協議会との連携

① 高齢者見守り調査の実施【再掲】

② 生活福祉資金の貸付相談及び受付

低所得者・高齢者・障がい者世帯の経済的自立と生活の安定のため、相談及び申請受付を行った。

また、平成27年4月から生活困窮者自立支援法に基づき、新たに区に設置された「くらし支援窓口」と連携し、生活困窮者等の自立支援に向け生活支援費等の貸付申請受付を行った。

平成28年度 生活福祉資金 貸付決定内容

(相談件数：延べ1,616件)

資金種類	件数	金額	備考
総合支援資金 (生活支援費)	1件	360,000円	生活支援費1件360,000円
緊急小口資金	4件	373,000円	
福祉資金 (住宅改修)	1件	515,937円	
福祉資金 (その他一時的必要経費・クーラー設置費)	6件	488,494円	
福祉資金 (その他一時的必要経費・洗濯機設置費)	2件	86,000円	
福祉資金 (その他一時的必要経費・冷蔵庫設置費)	1件	45,000円	
福祉資金 (技能習得費)	2件	799,600円	支度費+支援費
教育支援資金 (就学支度費・教育支援費)	28件	14,113,600円	再申請の為の辞退1件、辞退6件 減額の計2,540,600円
合計	45件	16,781,631円	

③ 指定地区民児協活動の支援

平成 28 年度は池田北部地区が神戸市社会福祉協議会指定を受け、同地区民児協は課題として設定した事業に重点的に取り組み、区社協は事業の取り組み支援と助成を行った。

(3) 要保護者緊急援護資金の償還業務

要保護世帯で緊急に費用が必要となる世帯への貸付に係る償還業務を行った。

- ・ 償還件数 12 件
- ・ 償還金額 12,000 円

(4) 善意銀行の運営

広く区民や企業や団体から善意の預託を受け、地域福祉を推進する団体等に払い出した。

① 預託状況

- ・ 金銭預託 82 件 801, 618 円
- ・ 物品預託 18 件 (日用品、食品、チケット、車いす等)
- ・ 技術預託 4 件 (施設児童の七五三参りの衣装貸出、着付け、記念写真撮影等)

② 払出状況

金銭払出 (振込手数料含む)

分野	内容	件数	金額
高齢者福祉	歩行杖の購入	200 本	199, 800 円
	音楽コンサートチケットの購入	120 枚	100, 000 円
障がい者福祉	障がい者団体等への助成	6 団体	155, 000 円
	障害福祉サービス事業所への助成	18 団体	518, 424 円
公募助成事業【新規】	地域の福祉活動への助成	3 件	120, 000 円
被災者支援	火災・水害等の見舞金	2 件	50, 000 円
貸出用機材等	貸出車いす購入費・修繕費	購入 2 台	59, 260 円
その他	助成金等の振込手数料		13, 824 円
合 計			1, 216, 308 円

- ・ 物品払出 (区内社会福祉施設、団体、ボランティアグループ等)
- ・ 技術払出 (児童福祉施設 2 施設)

③ 物品貸出の状況

- ・ 車いす貸出事業 145 件
- ・ 綿菓子機、ポップコーン機等イベント用機材の貸出 90 件

④ 車いす寄贈プログラム【新規】

大口寄付者 2 名による命名プレートを付した貸出用車いす 2 台を寄贈いただいた。

(5) 芝田カナエ基金の運営

長田の子どもたちの幸せを願う寄付者の希望に沿って、児童の福祉を推進する行事等の支援を行った。また、平成 27 年 12 月に 2,000,000 円の寄付金の申し出を受理した。

内 容	金 額	内 容	金 額
交通遺児への支援	140,000 円	家庭養護促進協会への支援	27,000 円
区内児童福祉施設等の 備品購入助成	300,000 円	赤ちゃんホームに対する 物品購入助成	30,000 円
子ども会行事への助成	20,000 円	公募助成金【新規】	250,000 円
5歳児地域交流事業	104,173 円	その他	50,000 円
絵本こうかん市場管理費	48,000 円	その他（振込み手数料）	5,292 円
児童館合同行事	80,000 円	合 計	1,054,465 円

(6) 「それいけ！ながた 福祉活動応援助成」【再掲/新規】

既存の助成事業を見直し、新規の助成先や先駆的な地域活動等への支援をするため、共同募金・芝田カナエ基金・善意銀行公募型助成制度を実施。審査の上、3団体への助成を行った。

(支出財源内訳)

財 源	金 額
共同募金	250,000 円
芝田カナエ基金	250,000 円
善意銀行	120,000 円
合 計	620,000 円

(7) 広報啓発活動

① 広報および福祉情報の提供


ア) 区社協広報紙「それいけながた No. 33」の発行

・発行回数 年1回(9月) ・発行部数 50,000部

イ) ボランティアセンター情報誌「季刊それいけながた」の発行

・発行回数 年3回(平成28年7月、10月、平成29年2月)

・発行部数 約800部(約270部×3回)

 ウ) 区社協ホームページの運営 <http://www.nagatavc.org/> 【拡充】

トップページ等一部機能のリニューアル(フェイスブックの新設)を行った。

(8) みんなの福祉講演会の開催【再掲】

・日 時 平成28年10月30日(日) 13:30~15:00

・テーマ 「防災のまちづくりから共助を考える~防災が地域を変える、社会を変える~」

・講 師 片田 敏孝氏 (群馬大学大学院理工学府 教授) 参加者数 89名

(9) 施設部会活動【再掲】

第31回長田区保育園・保育所5歳児地域交流会」の開催

・目 的 公立、私立の保育所(園)の5歳児が、老人クラブ、主任児童委員と共に運動会

遊びをして、世代間交流を図る。

- ・日 時 平成28年10月25日(火) 9:40~11:30
- ・場 所 兵庫県立文化体育館
- ・参加者数 592名(5歳児351名、老人クラブ113名 その他128名)

(10) 長田区成年後見制度[長田相談室]の運営

神戸市成年後見支援センター(神戸市社協)が実施する成年後見制度のしくみや利用の手続きを説明する「長田相談室」の開催について、運営・広報等の協力を行った。

- ・日 時 毎月第4金曜 13:30~15:30
- ・場 所 長田区役所3階 相談室 ※受付は4階 長田区社協
- ・相談員 神戸市成年後見支援センターが実施する「市民後見人養成研修」を修了した市民後見人候補者
- ・相談状況 開催回数:11回 相談件数:7件

(11) 地域福祉ネットワーク事業

既存制度では解決できない問題や、地域の人々がまだ問題と認識していない福祉課題などについて地域住民や団体、行政、専門機関などと話し合う場を持ち、協力して問題解決の仕組みづくりに取り組んだ。

① 個別相談対応

- ・相談受付件数 68件(平成27年度からの継続分 3件含む)

個別相談対応のうち、個人のケースについては本人、家族、民生委員、公的機関などさまざまなところからの相談を受付。ゴミ問題を抱える若年世帯や不登校の子どもに関するケース等では訪問・関係機関との連絡調整などの支援を行った。

② ネットワーク事業の研修・会議出席

平成28年度 研修・会議出席件数 200件(平成29年3月現在)

※主な研修 事例検討会 全4回、CSW(コミュニティソーシャルワーク)研究会 全3回
地域生活支援ワーカーリーダー養成インストラクター研修会
子ども食堂セミナー 若年性認知症研修

※主な会議 事業課長・NW(ネットワーク)主幹会、NW(ネットワーク)事業担当者連絡会
(月1回) 民児協定例会・小地域支え合い連絡会 等

③ 外出・買い物支援の仕組みづくり [再掲]

昨年度実施した買い物・外出に関するアンケート調査について、地域への情報提供を行った。

- ・丸山地区民児協 定例会 平成28年7月5日(火) 参加者 民生委員20名
- ・丸山敬老のつどい 平成28年9月3日(土) 参加者 住民約200名
- ・丸山地域ケア会議 平成28年9月13日(火) 参加者 地域住民・専門職約50名

④ 子ども食堂等情報交換会の開催 [新規]

長田区内の子ども食堂等についての情報収集、活動状況の把握を行うと共に、活動団体間の情報交換会を開催した。

- ・日 時 平成 28 年 11 月 30 日（水） 13:30～15:00
- ・出席者 活動団体 4 団体 活動を検討している団体 2 団体 スクールソーシャルワーカー、NPO 団体、神戸市子ども青少年課
- ・内 容 各団体の活動状況の紹介、活動を行う上での課題についての情報共有等

⑤ 高取山等を活動の場とした若年性認知症交流会の立ち上げ【新規】

若年性認知症当事者・家族・地域の方々が一緒に楽しめる外出の場を作る取り組みを開始した。

【立ち上げ準備会の開催】

- ・第 1 回準備会 日 時 平成 28 年 7 月 22 日（金）
内 容 当事者・家族・ボランティア意見交換
- ・関係者下見会 日 時 平成 28 年 10 月 15 日（土）
内 容 区社協・専門職・ボランティアによる高取山下見
- ・第 2 回準備会 日 時 平成 28 年 11 月 23 日（水）
内 容 当事者・家族・ボランティアが参加し、観音山・長田神社などを散策意見交換
- ・第 3 回準備会 日 時 平成 29 年 2 月 4 日（土）
内 容 板宿八幡神社周辺散策、意見交換会

⑥ 高齢者支援の調査・研究（ICT を活用した地域活動拠点交流事業）【新規】

地域に点在する活動拠点同士を、ICT(情報通信技術)を利用してつなぐことにより、これまでとは違った参加者同士のコミュニケーションの場を提供し、新たな参加者・支援者の加入、人材の有効活用、今後の生活支援への活用の可能性を探る取り組みを行った。

ア) 名倉地区

(日時) 平成 29 年 3 月 9 日（木） 13:30～15:00

(場所) A) 市営房王寺住宅(房王寺さくら会 生きがい教室) ⇄ B) 市営丸山東住宅(めぐみルーム)

(内容) いちご大福づくり (参加者) 24 名

イ) 丸山地区

(日時) 平成 29 年 3 月 15 日（水） 14:00～15:00

(場所) C) まんてん堂ハイムこうべ丸山(まんてんカフェ) ⇄ D) 雲雀ヶ丘(ひばり集会所)

(内容) 脳トレ・体操・茶話会 (参加者) 55 名

⑦ 食のセーフティネット事業【新規】

神戸市社会福祉協議会が平成 28 年 8 月 1 日から生活困難者に対する緊急的な食糧提供を行う「食のセーフティネット事業」を開始したことに伴い、長田区社協でも独自に食糧を調達し、並行して緊急食糧支援を開始した。

- ・食糧提供件数 16 件

⑧ 長田区社会福祉法人連絡協議会の設立支援【新規】

社会福祉法改正により、社会福祉法人に「地域における公益的な取組」を実施する責務が明確化されたことから、長田区においても社会福祉法人が種別の枠を超えて連携し、協力して地域課題に取り組む連絡協議会の設立を目指すこととなり、事務局として設立支援を行っ

た。

- ・世話人会 ①平成28年9月13日(火) ②11月9日(水) ③12月19日(月)
④平成29年1月27日(金)
- ・長田区社会福祉法人連絡協議会設立準備会 平成29年1月27日(金)
- ・長田区社会福祉法人連絡協議会設立総会 平成29年2月22日(水)

(12) 生活支援・介護予防サポーターの支援 [再掲/新規]

地域の活動の担い手である生活支援・介護予防サポーターの支援を行った。

- ・第1回交流会

日 時 平成28年 6月7日(火) 13:30~15:30 参加者 5名

- ・フォローアップ研修会・第2回交流会

日 時 平成28年10月7日(金) 13:30~15:30 参加者 12名

平成28年10月17日(月) 13:30~15:30 参加者 16名

内 容 傾聴ボランティア講座 講師：「心理スペースぼれぼれ」稲松 由佳 氏